研究テーマ

宮崎の産婦人科医療及び看護の発展を目指す

キーワード：産婦人科、子宮頸がん予防

領域・氏名

専門基礎分野（看護人間学Ｉ）　教授／　川越靖之

概要

宮崎大学産婦人科で30年間臨床、研究を行ってきました。看護大学では、その研究の継続とともに看護の立場からの研究も行います。それらの研究の還元により宮崎県の産婦人科医療の発展、看護のレベルアップに寄与します。

具体的な内容

宮崎県はお産に関する周産期医療は全国トップレベルを維持していますが、婦人科医療においては遅れが顕著です。子宮頸がんの罹患率が宮崎県は全国一である一方、その予防となるHPVワクチンの接種率および早期発見のための子宮がん検診率は低迷しています。そこで2023年度から宮崎県と協働し子宮頸がんに関して県レベルでのデータの集積、分析を行います。また教育の中でもこの様な婦人科及び周産期に関する生きたデータを学生と共に検討、共有することで問題意識を持った看護師の育成を目指します。

information

2023年から中学校におけるHPVワクチンの出前講座を宮崎県各地で行っています。また当学生による母子保健活動（すくすく倶楽部）も活発化させ、宮崎県民の健康情報への関心を高めるよう自治体と共に活動しています。